

# 経営比較分析表（平成28年度決算）

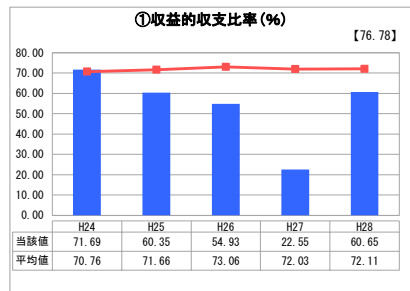
岐阜県 白川村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	95.57	1,235	

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,672	356.64	4.69
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,575	0.80	1,968.75

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成28年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



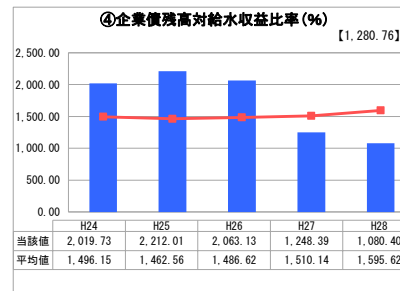
「単年度の収支」



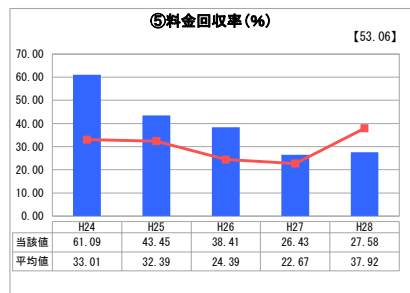
「累積欠損」



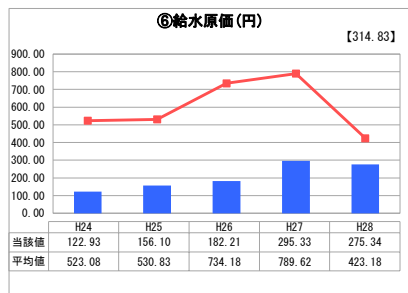
「支払能力」



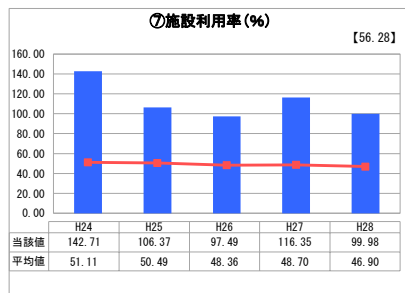
「債務残高」



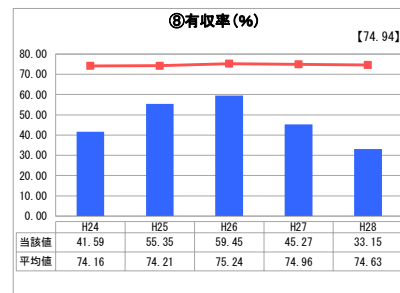
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「供給した配水量の効率性」

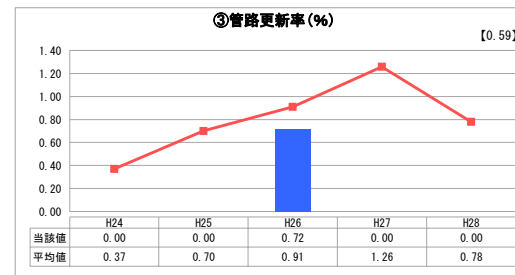
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

今年度は下がっていた収益的収支比率が改善された。昨年は繰り上げ償還を行ったため数値が低くなった。しかし平均値よりは低いので改善する必要がある。収益的収支比率の悪化は、人口減少に伴う給水収益の減少や料金回収率の低下が主な要因と考えられ、料金滞納者が多いことから、給水停止、訪問により料金の回収率を上げていく必要がある。有収率も低いので漏水調査をし、修繕していく必要がある。給水原価が類似団体よりも低いことから水道料金の値上げも考えていかなければならない。

### 2. 老朽化の状況について

漏水が起きている古い管があるので更新をしていく必要がある。また漏水調査を行い計画的に管路の更新をしていく。管路更新については平成29年度から漏水が起きている管路から更新を行っていく予定である。更新ができない要因については予算の関係や料金が低いことによって料金収入が少ないため進んでいないと思われる。

### 全体総括

今後の人口減少による給水収益の減少や老朽化する施設・管路などの更新が必要となってくるため、経費の削減や効率的な業務の遂行に努め、水道会計の健全運営に努める。料金の滞納者を減らしていくなどして料金回収率を改善して少しずつ管路を更新していく必要がある。給水原価も平均値よりも低くなっているため料金の値上げも考えていく必要がある。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。